

令和7年度 北海道天塩高等学校 学校経営シラバス

【基本的な考え方】

- 「北海道教育の基本理念」及び「留萌管内教育推進の重点」を踏まえる
- 生徒、保護者の期待及び地域の負託に応える
- 教職員と生徒、保護者と地域の信頼を基盤に「満足度100%」を目指す

【スクール・ミッション】

- 1 個々の生徒の特性に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 2 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- 3 異校種および関係機関との連携をはじめ、地域資源を活用した教育活動を通じて、郷土への理解を深め、持続可能な地域社会の実現に努める生徒の育成

【校訓】

身はすこやかにたくましく 清く正しく明朗で 知性豊かな人となれ

【学校教育目標】

- 1 真理を探究し、創造する力を育てる
- 2 豊かな情操と強い意志を培う
- 3 強健な体力とたくましい実行力を養う
- 4 人格を磨きよりよき社会人を育成する

【育成を目指す資質・能力に関する方針】

- 1 課題解決能力(思考力・判断力・表現力・創造力)
- 2 協働能力(協働性・情操力・社会性)
- 3 自己成長力(自律心・実行力・継続力)

【教育課程編成・実施に関する方針】

- (1) 多様な進路希望に応じたカリキュラムに沿って、深く、しっかりとした学びを推進し、基礎学力の定着を図る
- (2) 個別最適な学びの実現のため、ICTの活用や少人数指導など、個々に応じたきめ細やかな指導を展開することで学習意欲を高め、自ら学び、考える自走できる力を身に付ける
- (3) 学校行事や生徒会活動などの教育活動等を通して、チャレンジ精神を育み、主体的・協働的に取り組む姿勢を養う
- (4) 「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、自分の将来や郷土への思いを深め、よりよく課題を解決し、よりよい社会や人生を切り拓く力を育む
- (5) 知見者等の講演会等を行うとともに、地域や異校種との様々な教育活動を通して、多面的で多角的な見方や考え方を身に付ける

【入学者受入に関する方針】

- 1 自分の進むべき道を見つけ、自己発見につなげたい生徒
- 2 これまでの学びを深め、更に向上心を持って学びを続けたい生徒
- 3 他と協働して主体的に部活動や生徒会活動に参画できる生徒
- 4 地域に貢献することを志す生徒

【経営方針】

- 1 協働体制の確立による校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、「働き方改革」を推進する。
- 2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、育成を目指す資質・能力を確実に育む教育課程の改善・充実に努める。
- 3 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、保護者や地域住民の視点や、全国的に優れた教育実践等を参考とした改善を進め、学校の更なる魅力化を推進する。
- 4 地域や地元の小中学校、高等教育機関等との連携強化による探究的な学習やキャリア教育の充実を図り、入学から卒業までの体系的で継続性のある教育活動を展開する。

【重点目標】

- 1 働き方改革の推進
 - (1)協働体制の強化
 - ・学年、分掌、部活動において、互いの業務の進捗状況を確認し合い、必要に応じて業務の分担を見直すとともに、見通しと共通の目標を持ち、全職員一丸となって業務を遂行する。
 - (2)教職員の意識改革
 - ・一般市民や地域住民の目線で考えるとともに、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨き、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにする。
- 2 生徒の資質・能力の伸長を図る学習活動の充実
 - (1)「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な充実
 - ・探究的な学習活動の時間の中で、主体的・対話的で深い学びの実現と協働的な学びの充実を図るとともに、ICTを活用した「学習の個性化」と「指導の個別化」による個別最適な学びを推進する。
 - (2)授業と学習支援プログラムによる個別学習を有機的につなげた学習体制の確立
 - ・学校における教育活動と家庭等における個別学習の特長を互いに生かしながら生徒の資質・能力の伸長を図る。
- 3 魅力ある学校づくり
 - (1)PTAや振興会、同窓会等地域の方々との関係団体等との連携
 - ・教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての地域の方々の意見を把握し、教育活動の改善を進める。また、ホームページやsns等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し理解や協力を得る。
 - (2)法令遵守と説明責任の徹底
 - ・法令や通知等を遵守するとともに、家庭、地域への十分な情報提供を行い、信頼される学校づくりを推進する。
- 4 体系的な教育活動の推進
 - (1)探究的な教育活動の充実
 - ・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現のプロセスを重視した教育活動を通して、課題発見・解決力、情報収集力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力などを身に付け、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む探究活動を充実させる。
 - (2)キャリア教育の充実
 - ・大学の専門的な学びや教育研究にふれることを通して、職業観や勤労観を高めるとともに、生徒の学習意欲や進路意識を高めることを目指した高等教育機関等との連携を進める。